

KOBEアカデミックトークへの 登壇のご提案

KOBEアカデミックトークとは

市内大学の若手研究者が、地域の事業者や市民と対話・交流し、大学研究の意義や価値への理解を深めていただく対話型トークセッションイベントです。プレゼン→ディスカッション→交流

- ・ 大学と地域社会との結びつきを強化
- ・ 参加者同士のネットワーク構築
- ・ 大学研究の地域社会での活用、実装化を促進

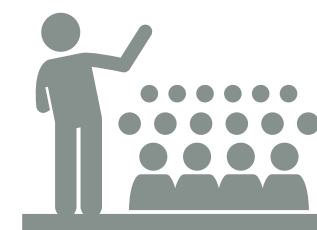


ディスカッション Q&A

ファシリテーターの進行に基づき展開
(プロによるプレゼン内容の深掘り)

ショート プレゼン

研究内容の発表
登壇者
2名
による



交流ネット ワーキング

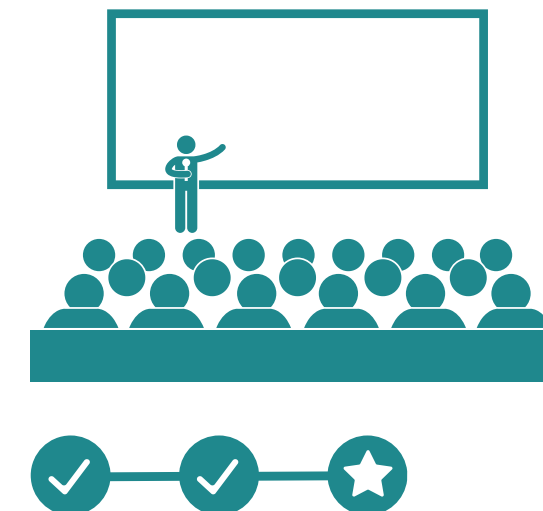
企業・行政・市民
とのネットワー
キング・名刺交換
(軽食あり)



● KOBE ACADEMIC TALK ■■■■

KOBEアカデミックトーク

3つのメリット



01

多くの企業・行政関係者に直接PRできる

02

地元企業との継続したつながりが期待できる

03

ショートプレゼン準備の他はすべてサポート



01 多くの企業・行政関係者に直接PRできる

イベントには多くの企業関係者が参加しています。

参加企業の例

西日本電信電話(株)、(株)NTTドコモ、東京海上日動火災保険(株)、
有限責任監査法人トーマツ、三菱電機(株)、弁理士法人イノベンティア、
(株)G-7ホールディングス、(株)竹中工務店、中村住建(株)、
(株)フェリシモ、双日(株)、(株)パソナグループ、(株)ティーガイヤ、
パーソナルビジネスプロセスデザイン(株)、株式会社神戸大学イノベーション、
(株)神戸製鉄所

マスコミメディア関係

(株)神戸新聞社、(株)朝日新聞社、(株)ラジオ関西、
(株)ジャーニーズ（神戸ジャーナル）

行政関係

兵庫県
神戸市（副市長含む）

参加者の声

”多様なテーマを扱うことで、
新たな視点を得られた。”

”研究の社会的意義や大学の研究内容を
知ることができる
よい機会だった。”

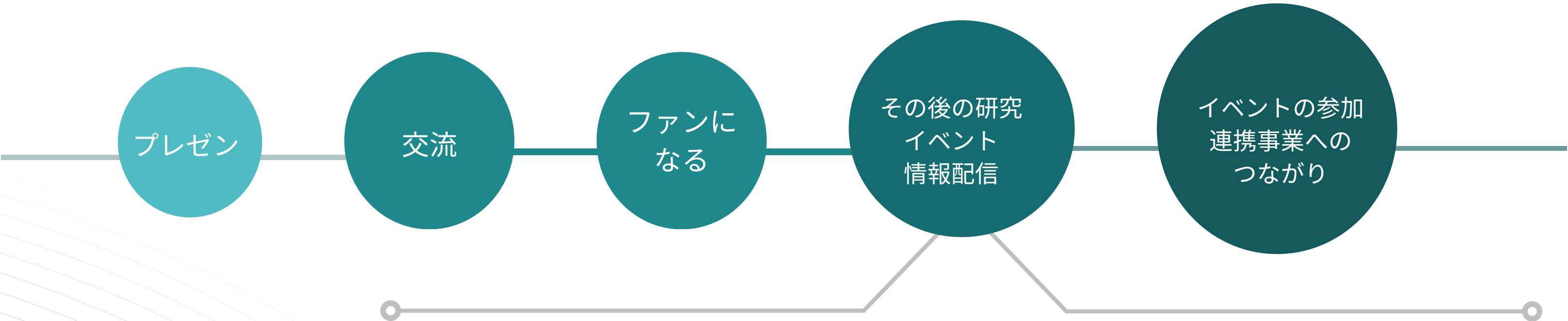
計169名参加
(31企業63名 行政40名)

企業・大学・行政・一般市民からの
幅広い参加

80%以上満足

参加者アンケート回答
満足度5段階評価による

02 地元企業との継続したつながりが期待できる



参加者への情報配信 専用サイトへの情報掲載 ネットワーキングサポート



03 ショートプレゼン準備の他はすべてサポート



- ・産官学プラットフォームイベント運営
- ・産官学プラットフォームで集客
- ・ファシリテーターによる企業に伝わりやすいプレゼンへの事前アドバイス
- ・ファシリテーターが当日のディスカッションをリード

・産官学関係団体・ネットワークによるイベントPR
・ウェブサイト・SNS記事配信
・広報KOBE・神戸新聞NEXT・神戸ジャーナル・KOBETV ほか、地域メディアの活用



ファシリテーターの例
第1回 3回 4回 5回 7回 (2024年度)

宮川 潤 氏
SUNDRED株式会社取締役 CFO兼
GMWest Region 他

● KOBE ACADEMIC TALK ■■■■

研究成果を神戸の発展に！

2025年度、KOBEアカデミックトークは全8回開催予定。
この貴重な機会に、研究成果を地域社会の発展に役立てて
みませんか。ご応募をお待ちしています。

開催時期：2025年6月～2026年2月



応募の流れ

2025年度募集期間: 2025年4月1日～4月30日まで

※公募オンライン説明会: 2025年4月8日～11日

専用フォームより応募

発表研究テーマ & 研究内容
(150字以内)の提出→審査

プロフィール・発表資料準備

審査結果連絡→プロフィール・発表資
料の準備→提出後打ち合わせ設定

事前打ち合わせ & 本番

ファシリテーターおよび関係者との
打ち合わせ後、本番



<https://shorturl.at/YQF1f>

QRコード or リンクにて
ご応募ください。

連絡先



050-5482-3852 | 078-954-6921



<https://kobeplatform.or.jp>



y-soga@kobeplatform.or.jp

● KOBE ACADEMIC TALK ■■■■

詳しくはQRコードから



KOBEアカデミックトーク
プロモーション動画
1分程度



KOBEアカデミックトーク
特設サイト

<https://academictalk.my.canva.site>



2025年度
募集要項

<https://shorturl.at/N1nBC>